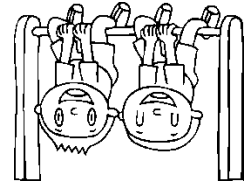




がっこう
学校だより
がっこう
9月号



令和4年8月29日
横浜市立三ツ沢小学校

がっこうぎょうじ せいちょう こ
学校行事で成長する子どもたち

こうちゆう たかぎ のぶゆき
校長 高木 伸之

校庭の角の百日紅が鮮やかな花びらを見せてくれています。三ツ沢小の百日紅はひときわ大きいので、青空との鮮やかなコントラストにより、一層の魅力を感じさせてくれます。

夏休み前、学校では、各学年の遠足や校外学習、4年生の野島宿泊体験学習や5年生の愛川ふれあいの村宿泊体験学習、そして、6年生の日光修学旅行を3年ぶりに実施しました。クラスごとに行った水泳学習も3年ぶりの実施でした。

私は6年生の日光修学旅行に行きました。6月下旬のようなだるような暑さはなく熱中症の心配をすることはなかったのですが、子どもたちは、雨の中をすべての行程に充実した取組をすることができました。雨に映える日光の山々は緑がきれいで晴れているときよりも味わい深く感じられました。華厳の滝も前日来の雨のせいか、水量が豊かで音や水しぶきに圧倒され、自然の偉大さを肌で感じるすることができました。



そんな中での修学旅行でしたが、子どもたちの姿を見ていて、私がいちばん感心したことは、グループ行動です。「〇時になったから買い物だよ。」「食事だから早く並ぼうよ。」「〇〇さん、こっちだよ。」などの声かけや、少し遅れてくる人を何も言わずに待つことなど言葉や行動に含まれる温かな思いやりの気持ちなど、一つひとつの行動が気持ちよく感じられました。しおりを見ながらの見通しをもった行動は、よい意味で「ゆとり」の時間を生み出してくれます。それが十分な食事の時間の確保につながり、黙食ではありましたが、3回の食事にしっかりと時間をかけ、十分味わうことができました。

今年の6年生の修学旅行のスローガンは「日光で 礼儀正しく 学び合い 学年みんなで協力だ!」というものでしたが、みんなで声を掛け合うことでこのスローガンに向けてのめあてがしっかりと達成できたのではないのでしょうか。このことは修学旅行だけで達成できるものではなく、これまでの国会見学や1年生とのかかわり等のみんなで力を合わせて取り組む様々な活動の中での積み重ねがあったからこそと思います。今後も、半年後に行う卒業式に向け、みんなの力を結集して進んでいってほしいと思います。

本校の学校教育目標は、「みとめ合い つながり合い ささえ合い わたしたちの未来を創ろう 三ツ沢の子」です。「み、つ、ぎ、わ」というキーワードを軸に、「知、徳、体、公、関」の調和のとれた人格の形成を目指して取り組んでおります。コロナ禍ではありますが、学校行事の中で、子どもたちは着実に成長していることを実感した前期前半でした。

いよいよ9月、前期後半のスタートです。ご家庭、地域の皆様と手を携えつつ、子どもたちの成長する姿を見守ってまいりたいと思います。